H29.2.18

農業機械輸送における作業手順書

増山貨物自動車株式会社

業務二課

はじめに

今般、事故多発の状況につき改めて指差呼称を取り入れた作業手順書を作成しました。作業時において『この時点で、この指差呼称を行う』と言う行動にて業務が無事にすむ筈であります。
社員の皆様が『嫌な思いはせずに済むだろう』との強い思いから改めての手順書作成になりました。

指差呼称を取り入れれば、84％もの事故が減少すると言われています。こう言う背景があることが理解できた現在、指差呼称をしっかりと行い継続して頂きたい作業手順書であります
作業手順書に従い皆様、人差指で対象物を差し、しっかり声を出し、確認し作業に従事する様切にお願い申し上げます。

増山貨物自動車株式会社では、安全確実な荷積み・荷卸しを徹底すべき、次の３つの活動に取り組みます。

１．輸送の品質を高める・・・法令の遵守　挨拶の励行
２．作業手順の遵守
３．社訓・ゼロエラーの遵守

荷積み・荷卸しに関する作業手順書

車両到着

1. 入門手続	指差呼称
①到着し事務所・受付等挨拶のため降車する場合は安全服装を整いてから降車する。 （ヘルメット、あご紐、安全靴、ヘルメットを被った際のあご紐状態は、あご下部分で人差指一本が入る程度とする。）	服装　ヨシ!!
②降車したら、直ちに歯止めを行うこと。 （歯止めは、右前輪に前後から挟む形に行うこと。歯止めは取り忘れ防止のためロープで結わえ、その尻手はドア取っ手等に掛けておくこと）	歯止　ヨシ!!
③構内規則等が掲げてある客先では、その規則を理解し遵守する。	
④事務所、受付等で配達先間違いがないことを確認し、輸送品名、個数の確認を行い作業場所指定等の指示を受ける。	
⑤所定の位置に車両を移動し、①手順でその後の作業に取り掛かる。	

積込前

2. 積込前手順	指差呼称
①トラック荷台の整理・整頓を行う。 （作業中,つまづく等の原因になる物がないこと）	
②出荷伝票に基づき、納品先、製品名、個数の確認をすること。	
③納本先、製品名、個数確認の際は、併せて外観確認も行なうこと。	30 秒ルール 外観　ヨシ!!

積込前の 30 秒ルール

※敬客愛品・・・汚れた品物を届けない。
・・・傷ついた品物を届けない。

※心　　得・・・お客を敬い、品物を愛すると言う精神に徹すること。
・・・服装を正し、礼儀を重んじること。
・・・法令を順守し、安全を守ること。
・・・品物正確、親切に届けること。

※積込み時・・・全体および汚れている部分をウェスで拭く。
・・・プラスチック部分は、倉庫で洗浄スプレイを借りて行うこと。
・・・別紙写真の青丸囲み部分は、特に傷を気にしながら拭くこと。
・・・汚れが落ちない。或いは傷を発見した場合、直ちに倉庫の人に伝え製品を交換してもらう。但し、クボタ㈱様が OK した物ならそれに従う。

積込作業

3. 積込作業	指差呼称
①製品の周囲に障害物となる物が無いことを確認する。 （回り込み乗車を実施する。）	作業範囲　ヨシ!! 障害物　ナシ!!
②乗用機械におけるエンジン始動は、乗車してからギアがニュウトラルであることを確認してから始動する （機械の脇に立ってのエンジン始動は、絶対禁止）	
③乗用機械を走行させる場合、副変速ギアのある物については、副変速ギアを必ず低速側とすること。	ギア　ヨシ!!
④田植え機の場合は、植え付け部。コンバインの場合は刈取り部が上昇していることを確認する。	植え付け部・刈取り部　ヨシ!!
⑤積込むためトラック方向に移動開始する場合は、進路方向（周囲）の確認をしてから移動する。	前　ヨシ!!
⑤荷台に機械が乗る直前、車幅と機械の位置関係を確認すること。	幅　ヨシ!!
⑥荷台の所定位置まで来たら、エンジンを止め、キーを抜き、ブレーキを掛けた後、機械から降りること。	ブレーキ　ヨシ!!

荷の固縛

4. 荷の固縛	指差呼称
①積載した機械の燃料コックが「閉」であることを確認する。（田植え機）	コック　ヨシ!!
②積載した機械のキーが抜いてあることを確認する。	
③積載した機械によっては歯止めを確実に行うこと。	
④固縛ロープが掛かると思われる所、或いは、シート擦れが起こり易いと思われる部分は、毛布等で養生すること。	養生　ヨシ!!
⑤ロープを取る時は、あや掛けとすること。（あや掛けとは、 ロープ力が双方向に加圧される状態のこと。）	
⑥毛布養生作業等において、製品の上には乗らないこと。	
⑦製品が輸送中動かないような固縛がされているか、固縛忘れ箇所がないか確認する。	固縛　ヨシ!!

シート掛け

5. シート掛け	指差呼称
①シートは雨天走行時におけるしっぱね等にも配慮し、届け先から『汚れがひどい』などのクレームが発生しない様にシートを掛けること。	
②シートは走行中における風などの影響でバタつき、膨らみが生じない様しっかりゴムで抑えること。	シート　ヨシ!!
③シートの保守は、適宜乾燥した状態を保つよう留意し、穴あき等雨漏れの原因となるような箇所は補修しておくこと。	

配達・届け先

6. 配達・届け先	指差呼称
①配達・届け先に着いたら、邪魔にならないような場所に停車し、安全服装に整い降車し、歯止めを行い事務所・受付等に挨拶し、製品をお届けに伺ったことを申し伝える。	服装　ヨシ!! 歯止　ヨシ!!
②配達先であることに間違いないことを確認する。（伝票納所による確認をする）	
③輸送して来た製品名、個数の確認をする。	
④卸場所の指示とトラックの駐車位置の確認をする。	
⑤荷卸しのためトラックを駐車する所が平坦であることを確認する。	
⑥安全に荷卸しが行えるスペースであることを確認する。	周囲　ヨシ!!

歩み板の使用

7. 歩み板の使用	指差呼称
①歩板に傷・亀裂が無く負荷に堪えられるものであることを確認する。	
②アオリのあるトラックでは、アオリをチェーンで吊り、その奥ボディーに歩み板を掛ける。	歩み、固定ヨシ!!
③アオリのないトラックでは、歩板が外れない様荷台からロープを取るなどして歩み板が落下しないよう措置をする。	
④掛けた歩み板中央には、スタンドを用いて歩み板の強度の補助とする。	
⑤歩板は、輸送機械のタイヤ・クローラー幅に合わせ平行に掛けること。	幅　ヨシ!!

荷卸し

8. 荷卸し	指差呼称
①配達先指示に従い荷卸しを開始する。	
②コンバインなど付属品付段ボール箱が付いている場合は、初めに段ボール箱を所定位置に運んでしまう。 その際、機械を移動してくるが障害とならない様配慮して仮置きとする。	
③乗用機械は、乗ってからエンジンを始動する。	始動　ヨシ!!
④田植え機、植え付け部。コンバイン、刈取り部が上昇したことを確認する。	植え付け部・刈取り部　ヨシ!!
⑤副変速ギアが付いている物については、副変速ギアを低速側に入れてあることを確認する。	ギア　ヨシ!!
⑥進行方向に障害物がないことを確認する。	障害物　ナシ!!
⑦荷台後方まで機械を移動してきたら、歩板とその機械のタイヤ・クローラー幅が合っている事を確認する。	幅　ヨシ!!
⑧慎重に歩板を使って荷台から降ろし始める。	
⑨動き出したら、他の一切の操作はしない。	
⑩荷卸し後、モップなどで全体的な埃を落す。	30 秒ルールヨシ!
⑪荷受けして頂いた方と相互確認をする。	

荷卸し後の 30 秒ルール

※敬客愛品・・・汚れた品物は届けない。
・・・傷ついた品物は届けない。

※心　得・・・お客を敬い、品物を愛すると言う精神に徹すること。
・・・服装を正し、礼儀を重んじること。
・・・法令を順守し、安全を守ること。
・・・品物正確、親切に届けること。

※荷卸し時・・・トラックより卸したあと、モップにて全体的な埃を落す。
・・・荷受けして頂いた方と相互確認をする。

歩み板の格納

9.　歩み板の格納	指差呼称
①荷卸しが終了したら、歩板を格納場所に格納する。	格納　ヨシ!!
②届け箇所が複数個所で近距離であっても、歩板は荷台に載せたままにしなで格納庫に格納すること。	

輸送品の引渡し

10.　輸送品の引渡し	指差呼称
①出荷伝票により、製品名、個数、付属品など間違いないことを確認する。	
②事務所、受付等で受領証を頂き、礼を述べて退出する。	

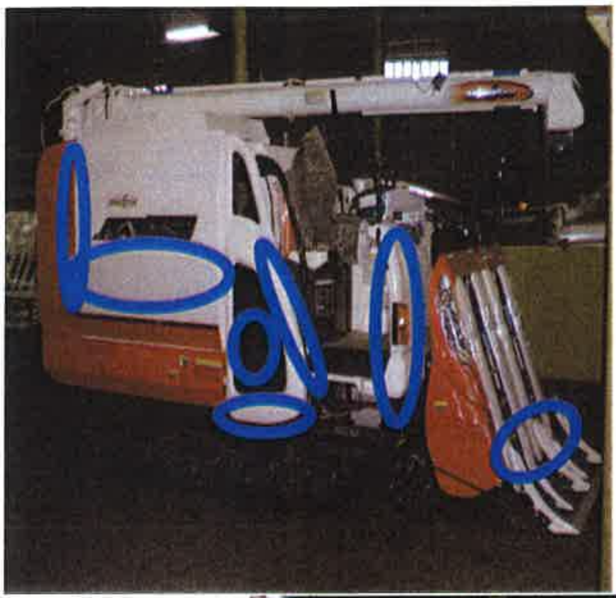
退出

11.　退出	指差呼称
①退出するにあたっては、トラックの回り込み点検を行い歯止めを格納して、乗車する。	歯止格納　ヨシ!!
②構内規則あるところでは、構内規則を確認しておき遵守して退出にあたる。	
③周囲の状況を確認して静かに退出する。	

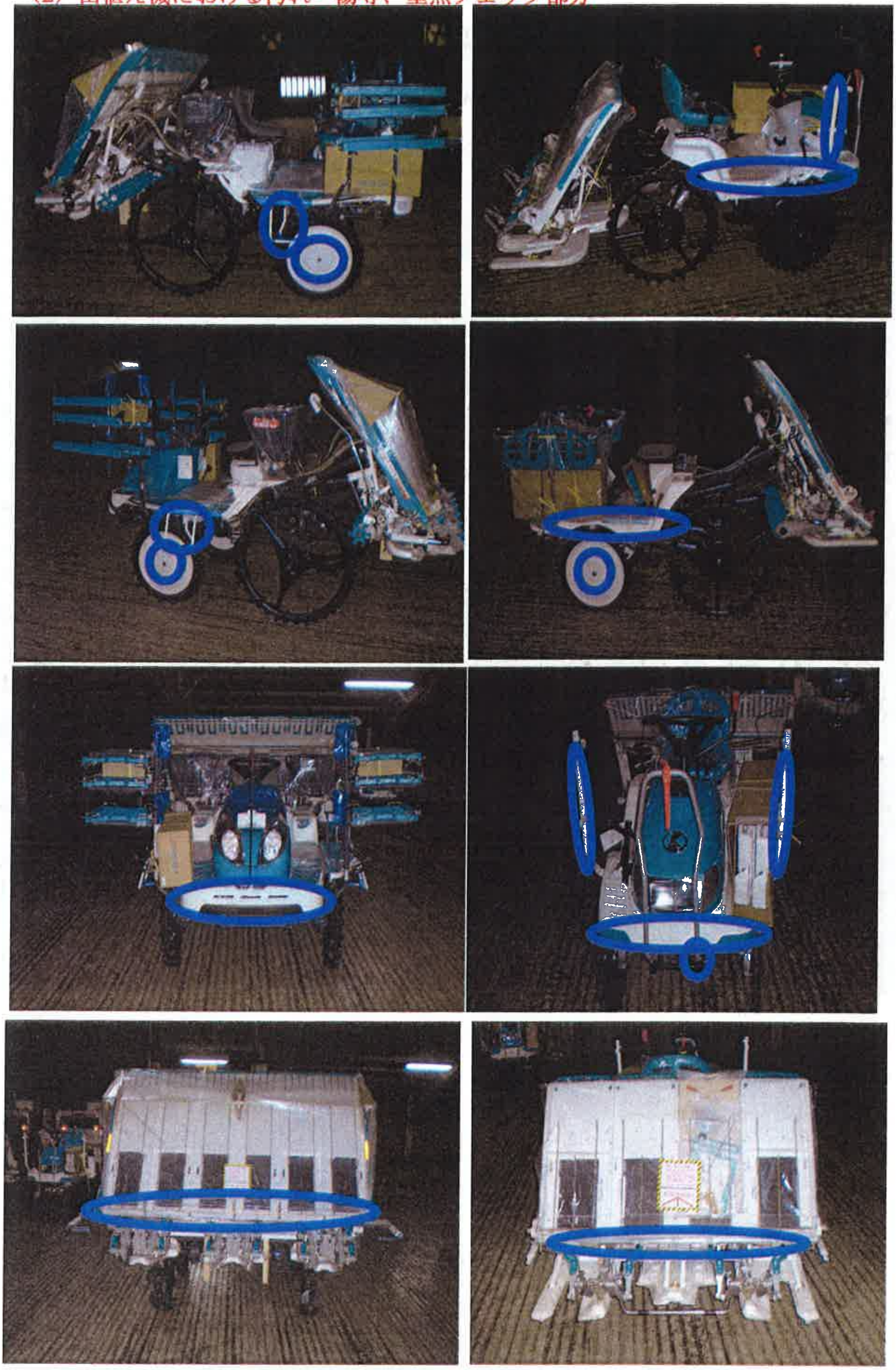
作成：平成 28 年 12 月 5 日
改定：

農業機械においては次の部分に配慮して取り扱い、
丸囲み周辺には特に、汚れ・傷などがないことを確認する。

（1）コンバインにおける汚れ・傷等、重点チェック部分



(2) 田植え機における汚れ・傷等、重点チェック部分



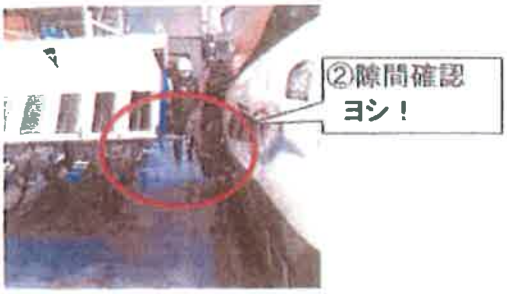
(3) 管理機における汚れ・傷等、重点チェック部分

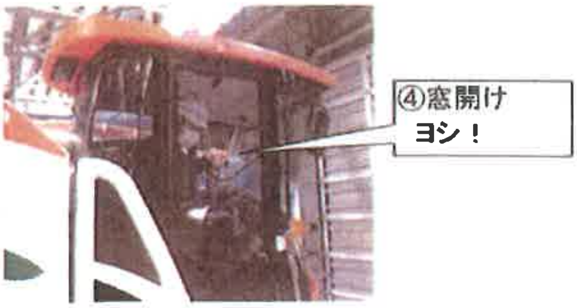
（4）トラクターにおける汚れ・傷等、重点チェック部分

安 全 確 認 ポ イ ン ト	作成　2016年　12月　1日
	生 産 管 理 課
	整理番号　S-004

作 業 名	コンバインの移動作業

（写真・略図及び特記事項）





NO	作 業 項 目	ポ イ ン ト	備考
①	乗車前には、周囲の目視確認を行う	死角が多いので製品や物にぶつける	
②	狭い場所は、目視確認後、ゆっくり移動する	製品や物、柱にぶつからないようにする	
③	移動時は刈取り部を上げ、仮置き時は刈取り部を下げる	人や製品移動時に接触する危険がある	
④	キャビン付きは、窓を開けて移動する	周囲の音が聞こえるようにする	

来歴	改 正 理 由	承 認	担 当	改正年月日	決 裁	承 認	起 案

安 全 確 認 ポ イ ン ト

作成	2016年 12月 1日
生 産 管 理 課	
整理番号	S-004

作 業 名	コンバインの移動作業

（写真・略図及び特記事項）

NO	作 業 項 目	ポ イ ン ト	備考
①	乗車前には、周囲の目視確認を行う	死角が多いので製品や物にぶつける	
②	狭い場所は、目視確認後、ゆっくり移動する	製品や物、柱にぶつからないようにする	
③	移動時は刈取り部を上げ、仮置き時は刈取り部を下げる	人や製品移動時に接触する危険がある	
④	キャビン付きは、窓を開けて移動する	周囲の音が聞こえるようにする	

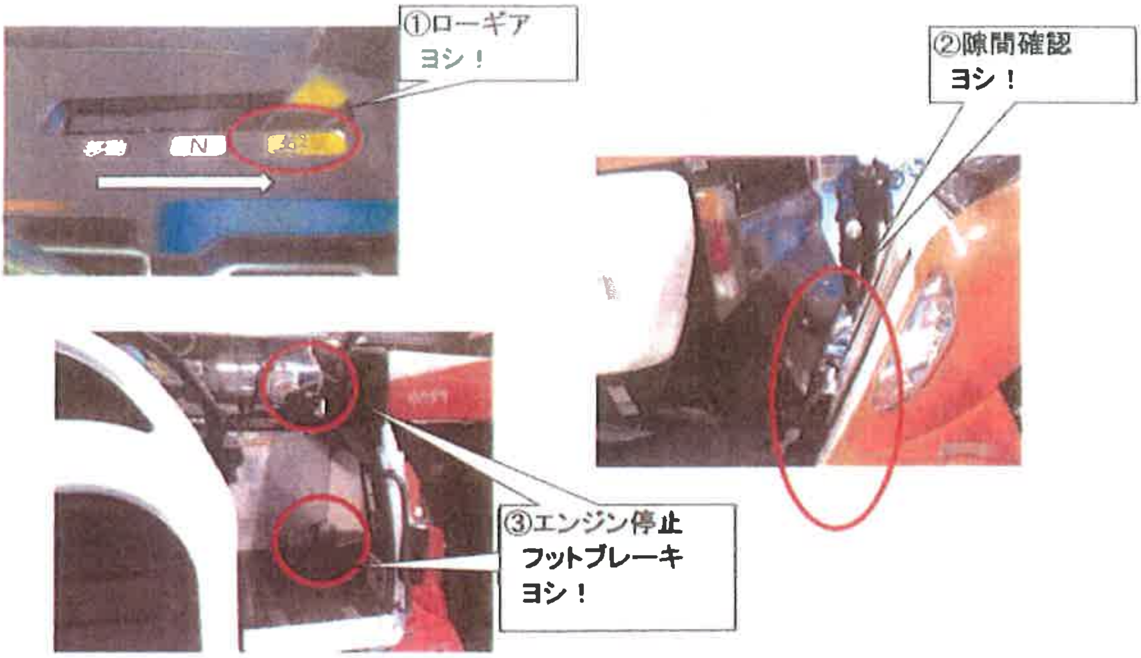
来歴	改 正 理 由	承 認	担 当	改正年月日	決 裁	承 認	起 案

安 全 確 認 ポ イ ン ト

作成	2016年 12月 1日
生 産 管 理 課	
整理番号	S-002

作 業 名　荷台への積み込作業

（写真・略図及び特記事項）



NO	作 業 項 目	ポ イ ン ト	備考
①	副変速をローギヤに入れ、低速で走行する	速度が速いと落下や衝突、接触を起こす可能性が高くなる	
②	製品間を詰める時は、目視確認を行う	思い込みで作業しない	
③	停降車時は、エンジンを切り、フットブレーキをかける	レバーが中立からズレていたり、中立がズレていたりで、動く可能性がある。	

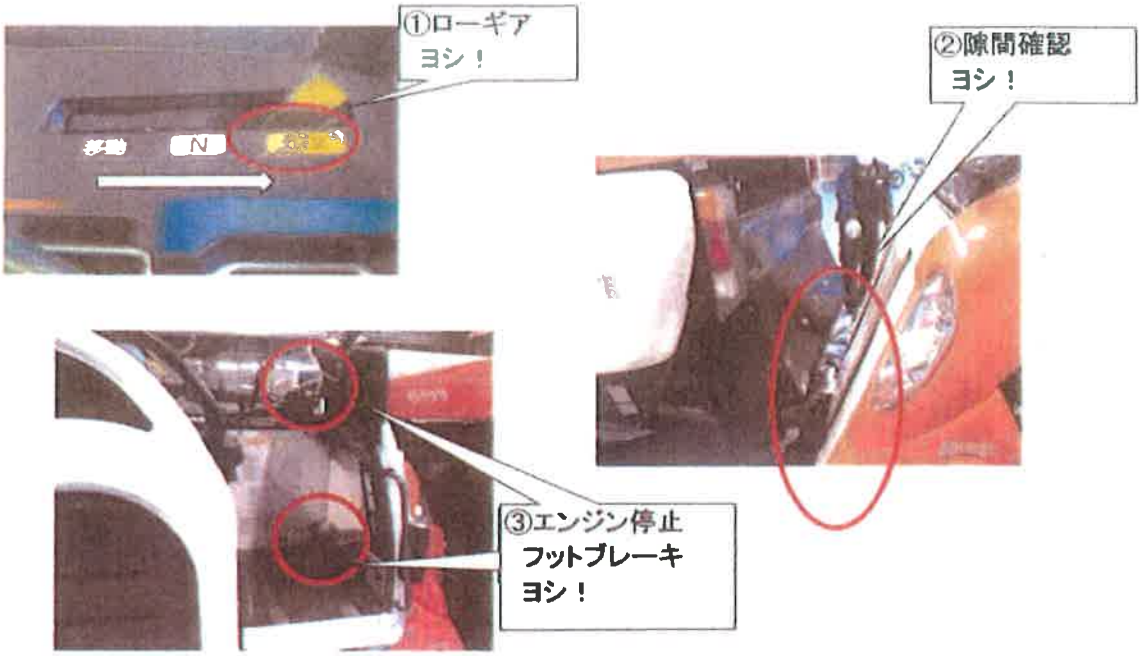
来歴	改 正 理 由	承 認	担 当	改正年月日	決 裁	承 認	起 案

安 全 確 認 ポ イ ン ト

作成	2016年 12月 1日
生 産 管 理 課	
整理番号	S-002

作 業 名 荷台への積み込作業

（写真・略図及び特記事項）



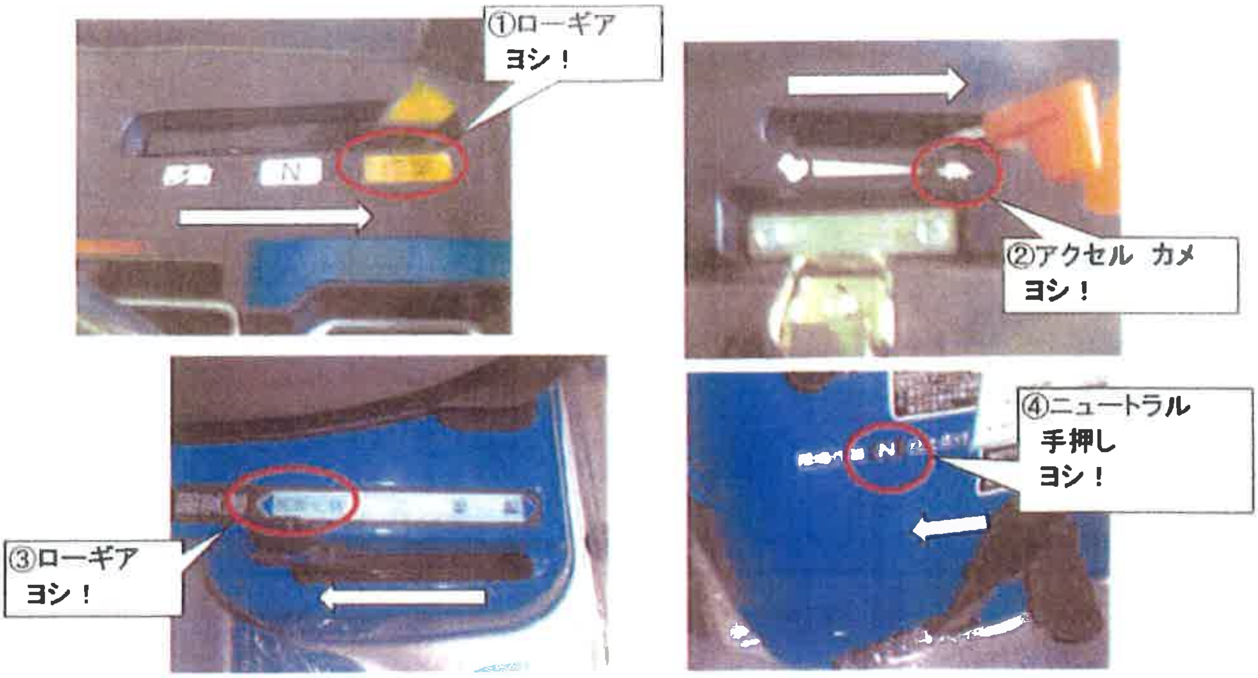
NO	作 業 項 目	ポ イ ン ト	備考
①	副変速をローギヤに入れ、低速で走行する	速度が速いと落下や衝突、接触を起こす可能性が高くなる	
②	製品間を詰める時は、目視確認を行う	思い込みで作業しない	
③	停降車時は、エンジンを切り、フットブレーキをかける	レバーが中立からズレていたり、中立がズレていたりで、動く可能性がある。	

来歴	改 正 理 由	承 認	担 当	改正年月日	決 裁	承 認	起 案

安全確認ポイント	作成 2016年 12月 1日
	生産管理課
	整理番号 S-003

作業名	積込み、荷卸し時の副変速

（写真･略図及び特記事項）



NO	作業項目	ポイント	備考
①	倉庫でコンバインを受け取り 移動する時副変速を「作業」にする	倉庫のホーム、トラック荷台、客先での荷降ろしは 全て副変速「作業」で行う	
②	荷台上で前の製品との間隔を つめる時は、アクセルを「カメ」にする	少し動かしたいときは、副変速ローギヤ、回転数 低速回転で行う	
	田植え機も同様に副変速を 「圃場作業」で行う	倉庫のホーム、トラック荷台、客先での荷降ろしは 全て副変速「圃場作業」で行う	
(4)	田植え機で前の製品との間隔を つめる時は、副変速「N」で手で押す	少し動かしたい時は、手で押す	

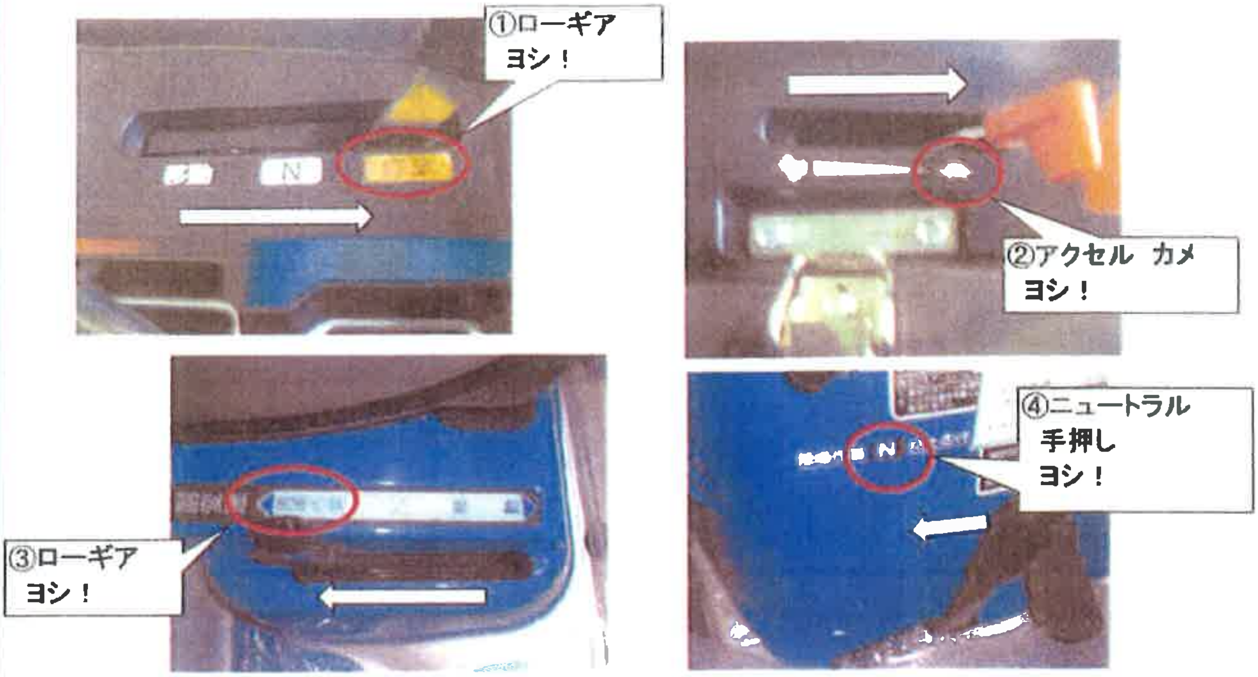
来歴	改正理由	承認	担当	改正年月日	決裁	承認	起案

安全確認ポイント

作成	2016年 12月 1日
生産管理課	
整理番号	S-003

作業名　積込み、荷卸し時の副変速

（写真・略図及び特記事項）



NO	作業項目	ポイント	備考
①	倉庫でコンバインを受け取り 移動する時副変速を「作業」にする	倉庫のホーム、トラック荷台、客先での荷降ろしは 全て副変速「作業」で行う	
②	荷台上で前の製品との間隔を つめる時は、アクセルを「カメ」にする	少し動かしたいときは、副変速ローギヤ、回転数 低速回転で行う	
	田植え機も同様に副変速を 「圃場作業」で行う	倉庫のホーム、トラック荷台、客先での荷降ろしは 全て副変速「圃場作業」で行う	
④	田植え機で前の製品との間隔を つめる時は、副変速「N」で手で押す	少し動かしたい時は、手で押す	

来歴	改正理由	承認	担当	改正年月日	決裁	承認	起案

安 全 確 認 ポ イ ン ト	作成　2016年　12月　1日
	生 産 管 理 課
	整理番号　S-008

作 業 名	WP60D/80D-SP仕様の配送作業

（写真･略図及び特記事項）

NO	作 業 項 目	ポ イ ン ト	備考
①	メーターパネル部にポンパレバー 注意ラベルが貼ってある	60D/80DのSP仕様は、ポンパレバー固定治具が 付いていないので植付部上昇は注意する。	
②	納品時、注意ラベルを剥がしてくる	必ず剥がして、納品先に貼ったまま製品を 渡さないようにする	
③	ドライバーは、受領と一緒に事務所 に剥がした注意ラベルを渡す。		
④	事務所は、ライベルが回収されたか チェックする	ラベル回収を忘れた場合、商社には直接連絡して 破棄して頂く、系統には工場に連絡する	

来歴	改定理由	確認	担当	改定年月日	決裁	承認	起案

安全確認ポイント	作成　2016年　12月　1日
	生産管理課
	整理番号　S-008

作業名　WP60D/80D-SP仕様の配送作業

（写真·略図及び特記事項）

①注意ラベル
ポンパレバー注意
ヨシ！

②注意ラベル回収
ヨシ！

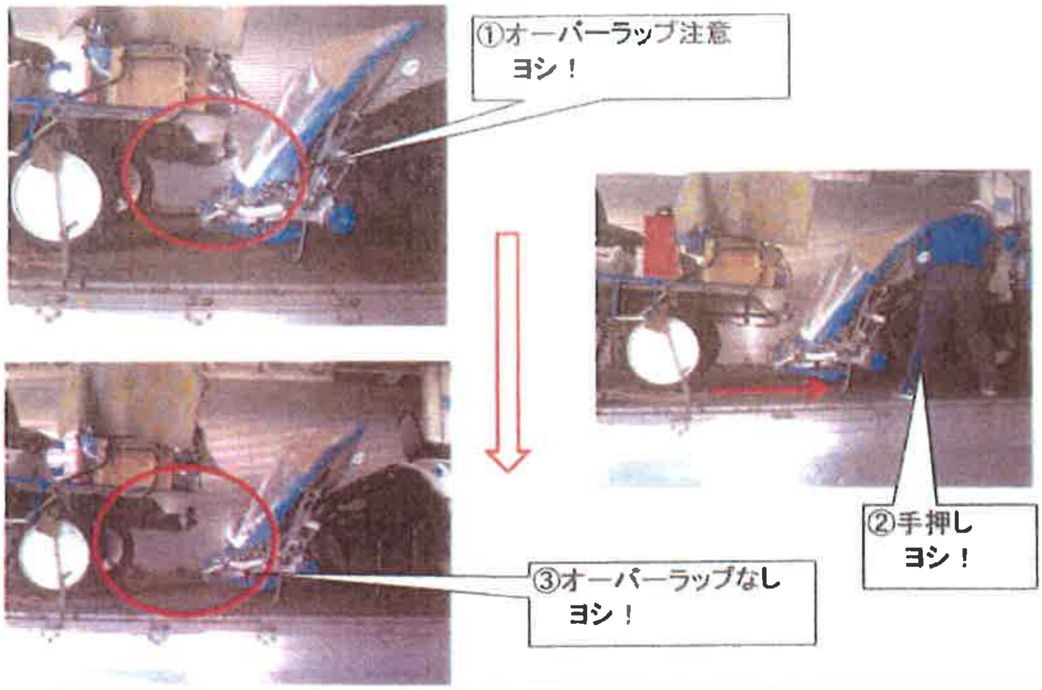
NO	作業項目	ポイント	備考
①	メーターパネル部にポンパレバー注意ラベルが貼ってある	60D/80DのSP仕様は、ポンパレバー固定治具が付いていないので植付部上昇は注意する。	
②	納品時、注意ラベルを剥がしてくる	必ず剥がして、納品先に貼ったまま製品を渡さないようにする	
3	ドライバーは、受領と一緒に事務所に剥がした注意ラベルを渡す。		
4	事務所は、ライベルが回収されたかチェックする	ラベル回収を忘れた場合、商社には直接連絡して破棄して頂く、系統には工場に連絡する	

履歴	改正理由	承認	担当	改正年月日	決裁	承認	起案

安全確認ポイント	作成　2016年　12月　1日
	生産管理課
	整理番号　S-010

作業名　乗用田植機をバックでオーバーラップ積載しての荷降ろし作業

(写真·略図及び特記事項)



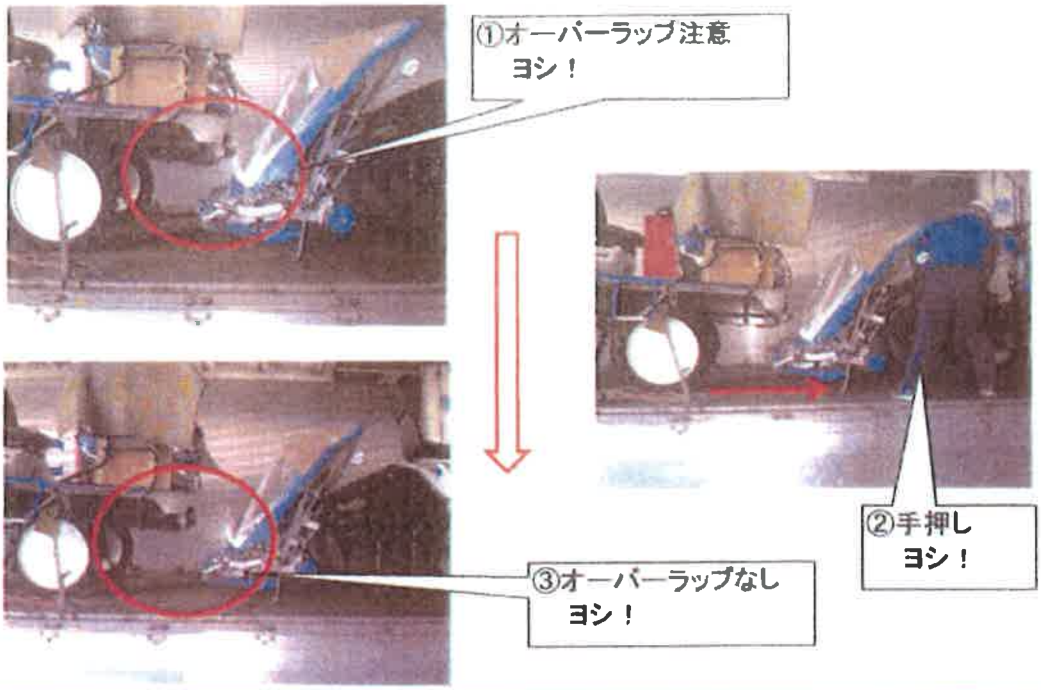
NO	作業項目	ポイント	備考
①	バンパーの下に植付部が入り込んでいる積付け状態	そのまま植付部を上げるとバンパーに当たる。	
②	植え付け部を上げずに、車輪を手で回し前に移動させる	手で前進させる。但し、後進は禁止。 エンジン始動での前進は禁止。	
③	植付部がバンパーから完全に抜けるまで移動させる	植付部を上げてもバンパーに当たらない位置まで動かす。	
④	エンジンをかけ、植付部を上げてから走行する		

改版	改正理由	承認	担当	改正年月日	決裁	承認	起案
						大塚	谷本

# 安全確認ポイント	作成　2016年　12月　1日 生産管理課 整理番号　S-010

作業名　　乗用田植機をバックでオーバーラップ積載しての荷降ろし作業

（写真･略図及び特記事項）



NO	作業項目	ポイント	備考
①	バンパーの下に植付部が入り込んでいる積付け状態	そのまま植付部を上げるとバンパーに当たる。	
②	植え付け部を上げずに、車輪を手で回し前に移動させる	手で前進させる。但し、後進は禁止。 エンジン始動での前進は禁止。	
③	植付部がバンパーから完全に抜けるまで移動させる	植付部を上げてもバンパーに当たらない位置まで動かす。	
④	エンジンをかけ、植付部を上げてから走行する		

来歴	改正理由	承認	担当	改正年月日	決裁	承認	起案
						大塚	鈴木

安 全 確 認 ポ イ ン ト

作成	2016年 12月 1日
生 産 管 理 課	
整理番号	S-005

作 業 名	コンバインの荷卸し作業(部品箱)

(写真･略図及び特記事項)

①部品降し
ヨシ！

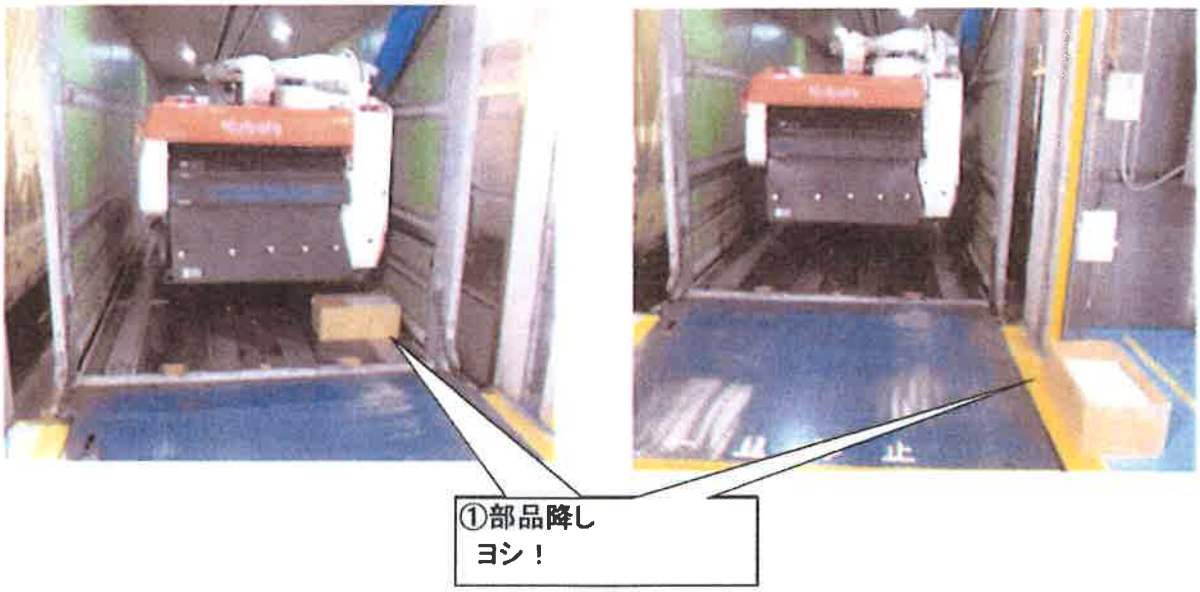
NO	作 業 項 目	ポ イ ン ト	備考
①	本機を降ろす前に部品箱を先に降ろす	部品箱を踏んでしまう	
②	部品箱を天板の上に載せない	きずになる	

来歴	改 正 理 由	承 認	担 当	改正年月日	決 裁	承 認	起 案
					(印)	大塚	(印)

安全確認ポイント	作成　2016年　12月　1日
	生産管理課
	整理番号　S-005

作業名	コンバインの荷卸し作業(部品箱)

(写真・略図及び特記事項)



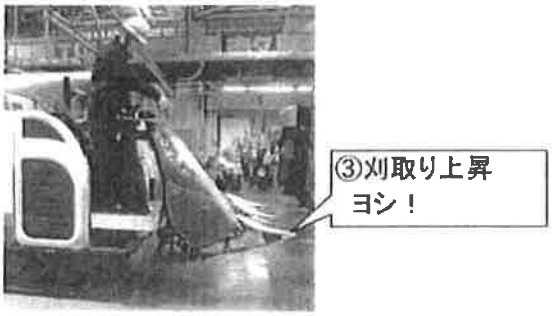
NO	作業項目	ポイント	備考
①	本機を降ろす前に部品箱を先に降ろす	部品箱を踏んでしまう	
②	部品箱を天板の上に載せない	きずになる	

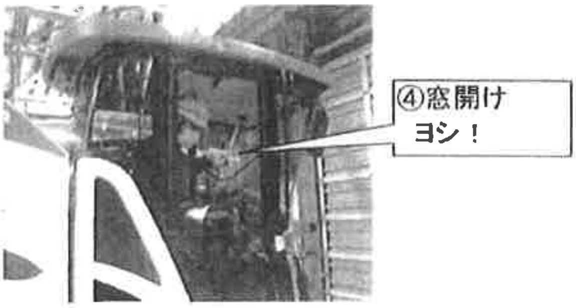
来歴	改正理由	承認	担当	改正年月日	決裁	承認	起案

安 全 確 認 ポ イ ン ト	作成 2016年 12月 1日
	生 産 管 理 課
	整理番号 S-004

作 業 名	コンバインの移動作業

(写真･略図及び特記事項)





NO	作 業 項 目	ポ イ ン ト	備考
①	乗車前には、周囲の目視確認を 行う	死角が多いので製品や物にぶつける	
②	狭い場所は、目視確認後、ゆっくり 移動する	製品や物、柱にぶつからないようにする	
③	移動時は刈取り部を上げ、 仮置き時は刈取り部を下げる	人や製品移動時に接触する危険がある	
④	キャビン付きは、窓を開けて 移動する	周囲の音が聞こえるようにする	

来歴	改 正 理 由	承 認	担 当	改正年月日	決 裁	承 認	起 案